

霧島市都市計画マスタープランの策定にあたって



本市は、鹿児島県本土のほぼ中央部に位置し、鹿児島空港や高速道路、鉄道など広域的な交通網が整備されるとともに、国立公園の霧島山をはじめとする豊かな自然、多彩な観光資源や特有の歴史・文化、先端技術産業を中心とする工業が集積するなど、多くの魅力やポテンシャルを有しています。

本市ではこれまで、平成 20 年 3 月に市の最上位計画として策定した「第一次霧島市総合計画」のもと、都市計画の分野における総合的な指針となる「霧島市都市計画マスタープラン」を平成 22 年 3 月に策定し、土地利用の誘導、道路、公共下水道等の都市施設や市街地整備などの都市づくりを進めてまいりました。

策定から 10 年経過し、インフラ整備が進む一方、本格的な人口減少社会の到来、東日本大震災などの大規模自然災害等を契機とした安全・安心な暮らしへの関心の高まり、経済・社会のグローバル化など、本市を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。

また、医療・福祉・商業などの都市機能や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりアクセスできるなど、日常生活に必要な生活サービス機能や地域コミュニティを維持するコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりが全国的に推進されています。

このような社会潮流に対応するため、平成 30 年 3 月に策定された「第二次霧島市総合計画」をはじめとする上位計画に即し、新たな「霧島市都市計画マスタープラン」を策定しました。

本計画では、第二次霧島市総合計画で描くまちの将来像『人にやさしく 人をはぐくむ 一人ひとりが輝きにぎわう 多機能都市』を実現するため、本市の主要な都市機能を集約する拠点と地域の生活を支えるための機能を集約する拠点が個性ある機能分担を図りながら連携しあう『集約型多極連携ネットワーク都市構造』を将来の都市構造として掲げ、今後の都市づくりを推進していきます。

本市が将来に向けて持続可能な発展を遂げていくためには、行政だけではなく、多様な主体が参加・連携する協働の都市づくりが重要であり、これからの都市づくりを市民や事業者の皆様と一緒に進めていきましょう。

最後に、本計画の策定にあたり、熱心にご審議いただきました霧島市都市計画審議会の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました市民の皆様に対しまして、心から感謝申し上げます。

令和 2 年 3 月

霧島市長 中重 真一